

KT SmartDrive (Holizon J5)

光庭Matrix5走行駐車一体の量産ソリューション

製品紹介

Horizon社のMatrix J5プラットフォームに基づき、光庭の走行駐車一体の量産ソリューションは高性能自動運転と自動駐車機能を提供できます。NOP、HWP、ADASなどの自動運転機能とAPA、RPA、LAPA、AVMなどの自動駐車機能が含まれています。SOAの特性により、光庭のソリューションは新しいプラットフォームに楽に移植可能な上、新しいアプリの開発も簡単に実現できます。お客様のプラットフォームの差異を効率的に乗り越え、製品の開発もスピードアップさせることができます。

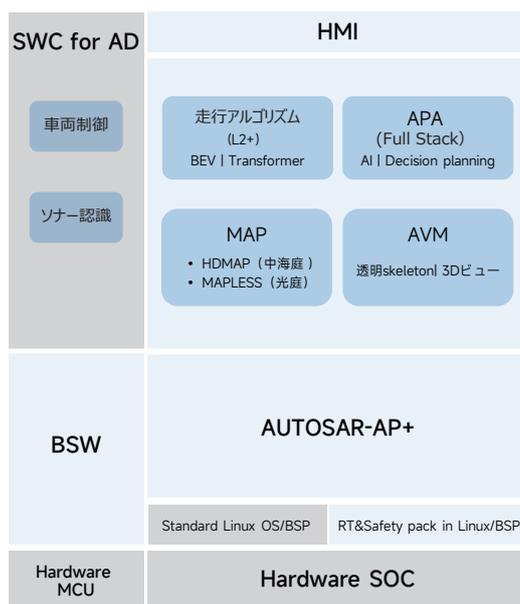
製品方案

10V5R12U | 走行駐車一体L2+



Journey5 SOC ・ AI ・ Decision planning ・ DGM(MAPLESS)	E3640 MCU ・ 車両制御 ・ ソナー認識 ・ 機能安全
--	---

- algorithmとセンサーのdecoupling (ソフトとハードが分離)
- algorithmとBSWのdecoupling (ソフトとソフトが分離)



コアメリット

AVM
安心・快適

- 豊富なビューモード
- skeleton機能
- 車のモデルがデジタル化されておりStyleをカスタマイズ可能

MPA
安心・気が済む

- 室内外ルートLAPA機能が実現可能
- 階層駐車可能

NOA
気楽・便利

- MAPLESS
- 坂道でNOA機能が実現できます
- 曲率ありの道でNOA機能が実現可能

製品機能&製品パラメータ

製品機能	キーパラメータ	パラメータ数値
APA融合駐車	駐車姿勢	横方向と縦方向が10cm以内、角度1°以内
LAPA記憶駐車	ルート学習の最大速度	30KMH以内
	ルート学習の最大距離	1KM以内
	ロケーションの精度	横方向が20cm以内、縦方向が30cm以内、角度が5°以内
TBAトレースバック	記憶ルートの長さ	200m以内
AVM (Around View Monitor)	CPU占有	平均4KDMIPS
	GPU占有	40GFLOPS以内
NOA(Navigate on Autopilot)	ロケーションの精度	横方向と縦方法が20cm以内、角度0.2°以内

技術支持

AVM アルゴリズム

- マルチプラットフォームに搭載できる：QualComm、SemiDrive、NVIDIAなどのプラットフォームのハードウェアの加速
- マルチOSに搭載できる：QNX, Linux, Android
- 透明keletonはのこぎり縞なし

AI認識アルゴリズム

- 中国の90%以上のラインを認識できます

Planning control アルゴリズム

- 特許数は中国でTOP3
- 運動中にハンドルが回転できます。

典型コース



製品特徴：

Skeleton、デジタル化車モデル、Luma Aglignment、ビュー切替えなど

ハードプラットフォーム：QualComm 8295

OS：QNX 7.01 Android P Automotive

製品特徴：

AVM、APA、RPA、LAPA、TBAなどの駐車機能

ハードプラットフォーム：Horizon Matrix J5 + SemiDrive X9U + Infineon TC397

OS：Linux AUTOSAR OS